

平成 28 年度

おめでとうございます！

祝

文化庁映画賞 映画功労部門 受賞

安藤 清人 氏



平成 28 年度（第 14 回）文化庁映画賞贈呈式

平成 28 年 10 月 25 日 六本木ヒルズ グランドハイアット東京

安藤 清人（あんどう きよと）

1966 年（昭和 41 年）大映京都撮影所に照明助手として入社。1972 年（昭和 47 年）には東映京都撮影所とフリー契約を結び、中山治雄、増田悦章ら東映の黄金期を代表する照明マンの元で研鑽を積む。『コートローまかりとおる！』（鈴木則文 1984）で一本立ちして以降『二代目はクリスチャン』（井筒和幸 1985）『極道の妻たち』（五社英雄 1986）などの話題作で手腕を発揮。『わが心の銀河鉄道 宮沢賢治物語』（大森一樹 1996）『おもちゃ』（深作欣二 1999）『長崎ぶらぶら節』（深町幸男 2000）『千年の恋 ひかる源氏物語』（堀川とうこう 2001）『天地明察』（滝田洋二郎 2012）『利休にたずねよ』（田中光敏 2013）『海難 1890』（田中光敏 2015）で受賞した日本アカデミー賞優秀照明賞は計 7 回に及ぶ。和紙を用いたソフトな光は安藤照明の特長として知られる。日本映画テレビ照明協会の副会長、関西支部長を務め、技術スタッフの東西交流にも重要な役割を担ってきた。

日本アカデミー賞 優秀照明賞 上記 7 作品

日本映画テレビ照明協会照明技術賞 劇映画部門

第 31 回(1999)審査員特別賞『おもちゃ』 第 32 回(2000)最優秀照明賞『長崎ぶらぶら節』

第 38 回(2006)優秀照明賞『バルトの楽園』 第 41 回(2009)最優秀照明賞『火天の城』

第 45 回(2013)最優秀照明賞『利休にたずねよ』

毎日映画コンクール技術賞 第 55 回(2000)『長崎ぶらぶら節』

日本映画テレビ技術協会 映像技術賞（照明）第 6 回(2006)『バルトの楽園』

